

マーケットの動き（2025年8月25日～8月29日）

先週の為替市場は、前週末比、米ドルは対円でほぼ横ばいとなりました。

26日のトランプ米大統領によるFRB（米国連邦準備制度理事会）理事の解任報道を受け、FRBの独立性に対する懸念などから、一時的に米ドルが売られましたが、その後理事本人が辞任を否定したことなどを背景に、米ドルが買われました。週末にかけては米雇用統計を控えた慎重姿勢や持ち高調整などからドル売りが優勢となりました。

ユーロは前週末比、対円・対米ドルで下落しました。

投資環境見通し（2025年8月）

円に対して米ドル、ユーロともにレンジ内での動き

米ドル：日米関税交渉の合意に含まれる日本から米国への投資拡大はドル高要因とみられますが、米国景気は関税政策や金利高止まりの影響から減速するとみられることから、米ドルは円に対してレンジ内で推移するとみています。ただし、日米関税交渉の合意を受けて日銀による利上げ観測が再燃する場面では、米ドルは円に対して徐々に切り下がる可能性もあります。

ユーロ：米国とEUの関税交渉の合意に含まれているEUから米国への投資拡大やエネルギーおよび軍事装備品の購入引き上げに加え、米国関税政策による外需の減速はユーロの下押し圧力になるとみられますが、域内各国の財政拡大政策は景気にプラスとみられることからユーロを巡る強弱材料が交錯し、ユーロは円に対してレンジ内で推移するとみています。

	8月29日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	146.83	▲0.03	▲1.67	▲3.87	1.44
ユーロ/円	171.86	▲0.23	0.76	15.14	10.91

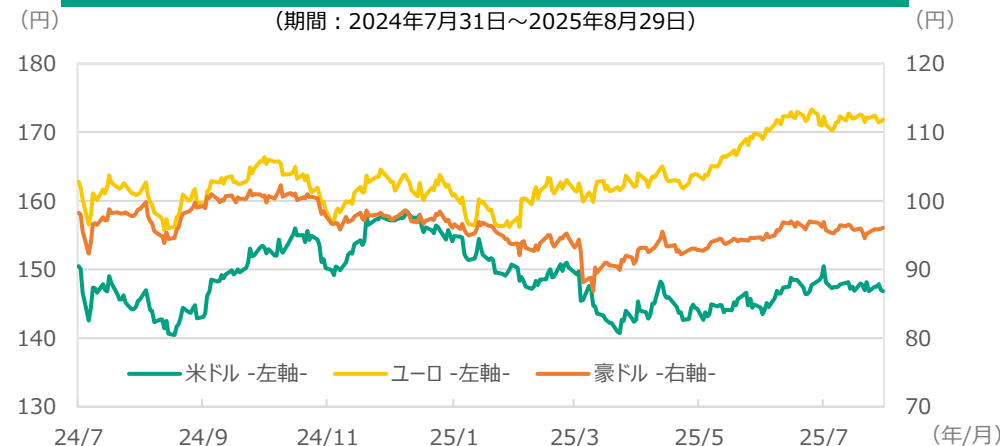
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202508_outlook.pdf

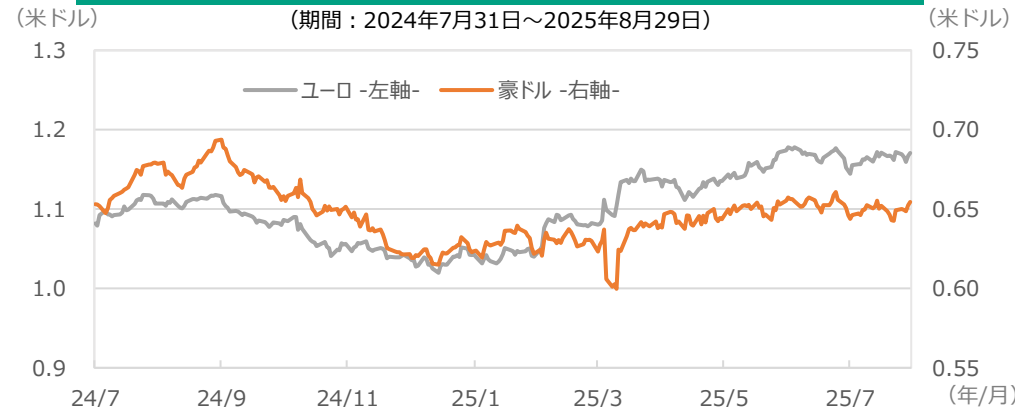
為替レートの推移（対日本円）

（期間：2024年7月31日～2025年8月29日）



為替レートの推移（対米ドル）

（期間：2024年7月31日～2025年8月29日）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>